NAGOYA UNIVERSITY OF ARTS

B!E

NAGOYA UNIVERSITY OF ARTS ART & DESIGN CENTER NEWS 2017.Vol.46

行くべし！ 観るべし。2017

You should go! You should watch it in 2017

名芸大生の2017年、必見のアートスポットとは？

卒業を控えた先輩、在学生、そしてこれから入学する新入生の皆さんへ。大学から一時間程度で行くことのできるオススメの場所、ぜひとも観るべき作品を、教員とスタッフから聞きました。地元が誇る施設から、ちょっとマニアックでディープな場所まで。

美術やデザインを共に学ぶ皆さんにこそ、ぜひ知ってもらいたい見どころが満載です。

昭和日常博物館（北名古屋市歴史民俗資料館）

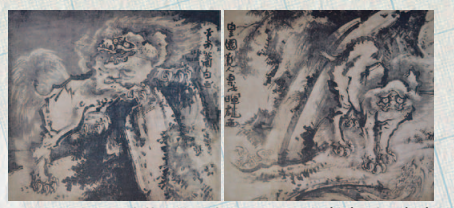
愛知県北名古屋市

「大学から一番近くて、行ったことが無ければ行くべし！」。今年度からアート＆デザインセンター学芸スタッフを務める磯部絢子さんは、情景展示の先駆けでも有名な**北名古屋市歴史民俗資料館**を一押し。**昭和日常博物館**の通称のとおり、"昭和という時代の暮らし"をテーマにした常設展示と、ユニークな企画展を重ね、開館25年を迎えました。**「映画やドラマで見たことのある様な、古き良き時代の生活を実物から感じることが出来ます。昭和という時代に生まれていない人もなぜが"なつかしー"と共感できるような物でいっぱい」**と、展示空間の魅力を推奨します。

朝田寺（ちょうでんじ）

三重県松阪市

須田真弘先生は、**曾我蕭白《唐獅子図》**を。**「狂気の絵師、異端の絵描きとして良く知られる江戸時代の日本画家、曾我蕭白の11点もの絵画が三重県松阪の片田舎にある朝田寺で、毎年牡丹の花咲く季節に見ることができます」**とのこと。**「荒々しく独創的で力強く奔放な筆致によるこの絵は、誰もが一度見ると忘れられないはず。まるでゆるキャラの様に佇む獅子たちと目が合った時、あなたも蕭白の魅力にはまってしまうことでしょう」**。こちらも重要文化財なんですね。



曾我蕭白筆　唐獅子図　阿行（左）・吽形（右）

例年4月20日～5月5日公開予定

メナード美術館

愛知県小牧市

メナード美術館展示室1

大学から近い美術館といえば、メナード美術館。日本メナード化粧品による私立美術館で、**ジェームズ・アンソール《仮面の中の自画像》**など西洋絵画の傑作をはじめ、質の高いコレクションを誇ります。日本画の荒木紀江先生は、美術館に入ってすぐに出迎えてくれる**マリノ・マリーニ《馬と騎手（街の守護神）》**がお気に入り。**「単純化されたフォルム、直線的ポーズでありながら静かな祈りを感じる魅力的な彫刻」**と評します。もちろん日本画のオススメもあって、**高山辰雄《白い襟のある》**は**「構成美と限られた色彩から奥深い情感を醸し出しています。品がいい！」**とのこと。

洋画の先生方からは、なかなか渋い推奨作品が続きます。

徳川美術館

愛知県名古屋市

吉本作次先生は、徳川美術館の**岩佐又兵衛《豊国祭礼図屏風》**を**「最後の桃山絵師の畢竟の名作」**と評します。豊臣秀吉七回忌に行われた祭典が描かれた六曲一双の重要文化財です。残念ながら通常展示ではありません。名芸大生なら、学生証で観ることができるので行ってみましょう。

特別展「尾張徳川家の雛まつり」展（4月9日まで）など企画展を開催中

豊国祭礼図屏風（部分）

近鉄電車で足をのばせば、三重県も身近な場所です。通学する学生さんもいますよね。

式年遷宮記念 せんぐう館

三重県伊勢市

◀外宮正殿の原寸大模型

洋画の大崎正裕先生は、平成25年の第62回式年遷宮を記念して、伊勢神宮・外宮に開館した資料館**「せんぐう館」**を紹介。**「古く瑞穂の国と呼ばれた日本の美しさ、日本の色使い、細密かつ美しい工芸品が生み出される過程と、間近で見る原寸大の外宮正殿の迫力と装飾の見事さに驚かされる。日本人としての喜びを自覚、再認識する場所としてお勧めします」**。

さて、岐阜県は電車でも車でもアクセスが良い場所ですね。

版画の西村正幸先生は、海外作家や留学生が来たら必ず連れて行くという場所があります。

中山道広重美術館 ～版画重ね摺り体験コーナー～

岐阜県恵那市

「日本の美術の粋（すい）＜浮世絵版画＞を鑑賞し、広重などの最多6色擬似木版画の見当合わせ摺りを、常時4種類ほど体験できるので、外国人も"オ～"となること間違いなし。大画面でバレン作りや職人技を紹介する映像もスゴ～イ！日本人としての誇りがみなぎるひと時を体感できます」。

行くべし！観るべし。2017

You should go! You should watch it in 2017

養老天命反転地 Created in 1997 by Arakawa and Madeline Gins,
© 1997 Estate of Madeline Gins.

養老天命反転地
岐阜県養老町

1995年開園の荒川修作＆マドリン・ギンズによる芸術作品であり、公園施設。美術文化の高橋綾子先生は、養老の滝とならんでこの地が全国に誇るディープなアートスポットとして、養老天命反転地の独自性を強調。**「“死なないため”という哲学的なコンセプトに貫かれた稀有なる公園だけど、とにかく身体丸ごと、七転八倒の覚悟で楽しんでほしい」**。ちなみに今年は「養老改元1300年祭」で、様々な催しが行われるようです。

Ⓒ Akitsugu Kojima

多治見市 モザイクタイルミュージアム
岐阜県多治見市笠原町

注目建築は、施釉磁器モザイクタイル発祥の地にして、全国一の生産量を誇る多治見市笠原町に、昨年誕生した多治見市モザイクタイルミュージアム。縄文建築で知られる藤森照信氏の設計・監修による話題の施設です。アート＆デザインセンターの平野恵美さんは、**「独創的な形と遊び、自然との融合、遠い昔の記憶を呼び起こすような藤森建築、圧巻です。開館記念展として大巻伸嗣氏の企画展が行われ、建築とともに今後の現代美術の展示も気になるところ。ギャルリ百草、信濃屋の至高のうどんに加えてぜひ多治見一日コースを！」**との提案。

岐阜も広いけれど、車で北上すれば郡上までは約一時間。

郡上おどり
岐阜県郡上市八幡町

イラストの丸岡慎一先生は、「郡上おどり」を提案。**「徹夜おどりにぜひ参加してみてください」**と。東京の大学生だった先生は四度も訪れ、**「徹夜おどりはライブでのトランス状態に似た高揚感を味わえます。学生時代の私は、野外ライブではっちゃけるのと同じ感覚で楽しんでいました」**。またデザインの立場から、**「地域の住民たちが、誇りを持って伝統を守りつつ、他者が参加することにこれほど寛容な地域を、私はあまり知りません。シビックプライドの観点からくまちづくり>を考えるためのヒントがそこにあるように思います」**と提言。

国宝茶室『如庵』
愛知県犬山市

織田信長の実弟である織田有楽斎が、隠居所として造らせた茶室。久野利博先生は、**「最初は、京都建仁寺にあった『如庵』が、明治になって三井家が入手、東京麻布の三井本邸に移築。その後、神奈川県大磯の別荘に移築され、戦後に名古屋鉄道の所有となり、犬山城下の景観の素晴らしい場所に移築され今日に及んでいます」**と、その歴史に思いを馳せます。月一回内部特別見学会を開催しますので、**「茶室に入って、建物の歴史と空間をぜひ体験して下さい」**。

さて、空間を体感するための新旧のオススメ。メディアデザインの竹内創先生は水族館を、メタルデザインの久野利博先生は茶室です。

名古屋港水族館 水中観覧席（北館2Fアンダーウォータービュー）
愛知県名古屋市

「ここでゆったりと時間を過ごすことをお勧めします。ここにいると映画館で横長のスクリーンを見ているような体験ができる空間です。イルカの美しい動きを観察しながらそのスクリーンに近づけば、インタラクティヴな体験も可能です」。

豊田市美術館
愛知県豊田市

愛知県が誇る建築といえば、豊田市美術館。臼井拓朗先生は、先生は、**「ニューヨーク近代美術館新館や丸亀市猪熊弦一郎現代美術館などを手掛けた、谷口吉生設計の美術館。国内では数少ない、現代アートやデザインの収集・展示を積極的に行なっていることでも全国的に有名です。館内に恒久設置された作品もあり、展示作品のみならず、展示空間自体も楽しみながら観ることができます」**と推奨。開館20年を経て、一昨年にはリニューアルオープン。世界にも誇れるアートスポットであり続けていますね。その数多くのコレクションの中で1点、同じくメディアコミュニケーションデザインコースの櫃田珠実先生からおすすめの作品といえば・・・

プリンキー・パレルモ「無題」
豊田市美術館所蔵

「日本の美術館であまり見ることのないプリンキー・パレルモの作品があります。80年代中頃ドイツのアプタイベルグ美術館（ハンス・ホライン建築）で初めて見た時に衝撃を受けました。彼の作品は平面でありながら空間を意識させます。小さくても存在感を示す作品です。」なるほど、これはぜひ本物を見てほしい。

第一民芸館外観

豊田市民芸館・民芸の森
愛知県豊田市

さらに、豊田市には、新たな見どころが。インダストリアルデザインの和田義行先生は、**豊田市民芸館**と昨年オープンした**豊田市民芸の森**を紹介。実業家であり古陶磁研究者でもあった本多静雄氏がこの地に茶室や田舎家を移築して過ごした場所です。アートやデザインを学ぶ学生にとっても、一般の愛好家にとっても、まだ穴場かもしれませんね。**「民芸館では柳宗悦の民芸運動の貴重な作品が鑑賞でき、茶室勘桜亭では土曜日曜祝日抹茶、和菓子と勘八峡の眺めでしばし別世界へ、リフレッシュできますよ」**。

こうしてみると、心身の感度を高める場所は、様々にあるのですね。自分だけのとっておきの空間として、あるいは友を招いて訪れ、学び、交流する場所として…。続いてゆっくりお茶を飲んだり生活デザインに触れることができるお洒落な空間をご紹介。

三光ビル
（1F gallery feel art zero,2F shop 22,
3F 3+ coffee & antiques,4F used clothes A）
愛知県名古屋市

テキスタイルデザインの扇千花先生は**「地下鉄車道駅近くの三光ビルの各階では、コンテンポラリーアート、クラフト、雑貨、アンティーク、ファッションなど、幅広いジャンルのものを見ることができる。この小さなビルを回るだけで、さまざまなこだわりを持った世界に触れることが出来て楽しい。」**とのこと。

gallery feel art zero 中西洋人展会場風景　Ⓒ辻徹

向野跨線橋
愛知県名古屋市

最後に、何気ない日常の空間にも、出色の光景はあります。スペースデザインの平田哲生先生は、関西本線名古屋駅西方のトラス橋である向野跨線橋を紹介。1899（明治32）年に京都鉄道が保津川橋梁としてアメリカのメーカーに発注、後に1930（昭和5）年に道路橋として移設されたもので、名古屋市内に現存する最古の橋とのことです。**「名古屋駅から歩いて行けます。ここから見る名古屋駅周辺の風景がすばらしい」**。

行くだけではわからない。つまりは、何が見えるか、感じるか、知るかが大事なんですね。さて、あなたのオススメの「行くべし！観るべし。」は何処ですか？

REPORT 01

Dialogue between Brighton and Nagoya

2016年12月9日［金］－14日［水］

本学と英国ブライトン大学との交流は20年を迎え、過去20年間多くの学生が交換留学生として両校で学び、豊かな経験をしました。本学にとって現在ブライトン大学は最も重要な姉妹校となっています。その20周年を記念して、両校教員による2つの展示プロジェクトがDialogue「対話」をキーワードに、今後のさらなる充実と発展を目的に、A&Dセンターギャラリ－BEにて開催されました。ドローイング・プロジェクトは両校の教員が5名ずつ2人1組となり、小さなドローイングを対話形式で交換しながら制作を試み、またゲストハウス・プロジェクトでは、両地域の特性を生かしながら、その可能性を見出すコンセプトを共有して、ゲストハウスをデザインしました。会場では対話形式による20枚の交流ドローイングの展示と共に東海地域の魅力溢れる素材と一緒にゲストハウスが建てられ、また本学とブライトン大学との20年間の歩みが学内報のアーカイブによって展示されました。初日オープンニングでは多くの関係者が招かれて賑わいました。

須田真弘　美術学部洋画コース教授

「言葉と絵～日本語＋絵＋デンマーク語」

2016年10月

10月に、アートクリエイターコースのスタッフ、学生6名がデンマークの過疎の村Braaskovにある寄宿学校に呼ばれ「言葉と絵」をテーマにしたworkshopを実施してきました。相手は16、17歳の生徒120名、企画者は1996年に私がBrande市のRemisen　Akademyのworkshopに呼ばれて以来の友人Steen　Rasmussen。「西村の作品」を基にとのことで、アートで「平和」を考える内容となりました。講義の後、生徒から平和に関する言葉を聞き出して「日本語」で書道するクラスと、家型オブジェを木で作り彩色と書を施すクラスに分かれ、3日間かけて完成させました。地元TV局のニュース特番で、世界で唯一の被爆国日本の芸大がアートで平和を考えるworkshopを行ったとの報道もされ、単に技術や知識の植え付けだけではないアート体験をしてもらうことができました。

西村正幸　美術学部アートクリエイターコース教授

フランス オータンにおけるフレスコ壁画プロジェクト

2016年8月

2016年の夏、2週間に渡り学生8名とともにフランス　オータン市にある歴史記念建造物ユルスリーヌ塔の壁画制作研修に出かけた。この制作が始まって早6年、学生らとともに毎年このプロジェクトに参加している。12世紀に建造されたこの塔は名誉教授である髙橋久雄氏所有の国際文化センターとして市のランドマークとなっており、様々なイベントや展覧会を通して芸術文化の交流の場として活動している。フランスの特に地方都市を訪れるたびに感じるのは市民の芸術文化に対する深い愛情だ。遠く故郷を離れた人でさえ故郷の文化を守るために努力を惜しまない。流行や情報に流されない強さもある。その姿勢は次代の子供達が当たり前に学び、引き継がれていく。我々ものづくりの者達はその土壌で常に温かく迎えられてきた。自然と制作にいい緊張と責任を感じ、充実感に満ちた日々となる。学生達はひと回り大人に成長する。文化を育てることは人を育てる事。我々も根気よく種を蒔き続けることから始め、心豊かな土壌を作り続けていきたい。

荒木紀江　美術学部日本画コース准教授

ART WORDS FROM THE ART WORLD

芸術一話 第22話 誰かの作品に似ることを恐れるな

東京オリンピック2020エンブレムパクリ問題が、制作者の佐野研二郎氏のデザイン取り下げによって一件落着、一般公募による新エンブレムが決定した。果たして一件落着したのであろうか。佐野氏は「盗作（パクリ）は一切やっていない。取り下げの理由は、混乱に終止符を打つため」としている。

この問題は、類似と盗作（パクリ）の問題、一方では「パクリ」と指摘し、「何が何でも佐野を許さない」というネットポピュリズムにマスコミが乗っかったという始末の悪い状況にあった。「全く似ていない」と語る佐野氏に対して、誰がみても似ているという現実。似ていると盗作（パクリ）は全く異なる。そこが整理されていない。結論を申せば、明らかに似ているが盗作（パクリ）ではない。説明には字数が足りないが、デザインであっても美術であっても必ず先人の多くのものに似ることは避けることができない。

全ての創作者は、創作の以前に多くの魅力的な作品に感化され、意識のあるなしに関わらず影響の下におかれて作品が生まれる。「真似る」に「学び」があり、ゴッホもピカソも多くのアーティストたちも、時には積極的にオマージュ、引用してきたのである。また造形物そのものが似ることを宿命としてある。誰かの作品に似ることを恐れていては、力強い創作は生まれない。大切なことは、似ないことではなく、似ているが私のオリジナリティはここにあるという確信に満ちていることだ。

清須市はるひ美術館　館長
高北 幸矢
Yukiya TAKAKITA

予告

FUTURE EVENT 01 第44回名古屋芸術大学 卒業制作展

2017年2月21日[火]ー26日[日]
愛知県美術館ギャラリー [愛知芸術文化センター 8階]
アートスペースG・H [愛知芸術文化センター12階]
10:00ー18:00(金曜は20:00、最終日は17:00まで)

【美術学部】 美術学科/日本画・洋画
【デザイン学部】 デザイン学科/ヴィジュアルデザイン・イラストレーション・メディアデザイン・メディアコミュニケーションデザイン・デザインマネージメント・インダストリアルデザイン・スペースデザイン・メタル&ジュエリー・テキスタイルデザイン

名古屋市民ギャラリー矢田
9:30ー19:00(最終日は17:00まで)
【美術学部】 美術学科/アートクリエイター(彫刻・陶芸 ガラス・版画 平面・コミュニケーションアート・美術文化)
【デザイン学部】 デザイン学科/メディアデザイン・メタル&ジュエリーデザイン・テキスタイルデザイン

名古屋芸術大学西キャンパス[アート&デザインセンター]
10:00ー18:00
【デザイン学部】 デザイン学科/インダストリアルデザイン・スペースデザイン

FUTURE EVENT 02 卒業制作展記念講演会「新人と旧人」

箭内道彦(クリエイティブディレクター、東京藝術大学美術学部デザイン科准教授)
2017年2月26日[日]
アートスペースA(愛知芸術文化センター12階)
入場無料:要申込 ※申込は終了しました

チラシデザイン:平井秀和(Peace Graphics)

FUTURE EVENT 03 第21回 名古屋芸術大学大学院修了制作展

2017年2月28日[火]ー3月5日[日]
名古屋市民ギャラリー矢田
9:30ー19:00(最終日は17:00まで)

2017 04 - 09 EXHIBITION SCHEDULE

Open 12:15ー18:00(最終日は17:00まで)日曜休館 入場無料 どなたでもご覧いただけます。
スケジュールは変更になる場合がありますので、ご確認ください。

3/31 金→ 4/12 水	2016年度デザイン学部レヴュー選抜展
5/12 金→ 5/17 水	アートクリエーターコース・コレクション展 Peace nine 2017
5/19 金→ 5/24 水	OB・OG展2017
6/ 9 金→ 6/14 水	名古屋芸術大学教員展
6/23 金→ 6/28 水	プレソツ展
6/30 金→ 7/ 5 水	大学院 コミュニケーションアート&デザイン演習発表展 2017年度前期留学生作品展
7/ 7 金→ 7/12 水	大学院洋画制作展
7/14 金→ 7/26 水	素材展(メタル&ジュエリーコース、テキスタイルコース演習発表展)
7/28 金→ 8/ 2 水	From Denmark 2017展
9/15 金→ 9/27 水	2017年度アート&デザインセンター企画展 「榊原澄人;記憶の羅針盤」展(仮称)
9/29 金→10/ 4 水	洋画1コース3・4年展

編集後記

学芸員として働き始めた20代半ば、「見た」という経験が欲しくて、片っ端から興味のある展覧会や作品を求めて国内外の美術館、ギャラリー、国際展に足を運んだ。でも果たして見たものを自分のものにできているのか、ちゃんと吸収できているのか、自分は何を得ているのだろうかと不安になった。そんなときにある方からの一言。「20代のうちは目に見えないものにお金を使いなさい」と。「それは30代に消化し、40代で根がつき、50代でようやく芽が出るでしょう。花が開くのは60代からよ!」と。自分の大それた悩みが恥ずかしかった。芸術の息は長いのだ。学生の皆さん、今はとにかく見るべし!

平野恵美(アート&デザインセンター)

最寄りの交通機関をご利用の場合
名鉄犬山線(地下鉄鶴舞線乗り入れ)徳重・名古屋芸大駅下車西へ約1,000m徒歩15分
※急行一準急電車の場合は西春駅で普通電車に乗り換えるが下車してください
中部国際空港からも名鉄犬山線をご利用ください
西春駅から北西約2,200m徒歩25分、西春駅からはタクシーの便もあります
自動車をご利用の場合
名神一宮インターから10分、名神小牧インターから15分

大学基準協会認定マーク
本学は2011年4月に、大学基準協会の大学基準に適合と認定され、認定評価を再取得しました。
認定期間は、2011年4月から2018年3月までです。
これにより、法令化されている「第三者による認定評価」にも合格したことになります。

名古屋芸術大学 Art & Design Center
NAGOYA UNIVERSITY OF ARTS
〒481-8535 愛知県北名古屋市徳重西沼65番地 TEL[0568]24-0325 FAX[0568]24-2897

B!e Vol.46
発行日 2017年2月24日
編集 髙橋綾子(美術学部アートクリエーターコース)/平野恵美(アート&デザインセンター)
発行 名古屋芸術大学アート&デザインセンター
〒481-8535 愛知県北名古屋市徳重西沼65番地 E-mail adc@nua.ac.jp URL http://www.nua.ac.jp

2016 Printed in Japan © Art & Design Center, Nagoya University of Arts

デザイン/印刷 サンメッセ株式会社